

本研究大会では要綱配布を電子版のみによって行います。事前に本要綱をダウンロード、もしくはプリントアウトしていただくことを推奨します。

日本文化政策学会
第 17 回年次研究大会
「多様性と共生社会—分断の時代の文化政策—」

大会開催要綱
(最終版)

2024 年 3月16日（土）・17日（日）

会場 青山学院大学

主催 日 本 文 化 政 策 学 会
後援 青山学院大学総合文化政策学部

目次

開催挨拶	3
大会概要	4
本研究大会における情報保障の考え方	5
プログラム・スケジュール	6
3月16日（土）	7
分科会Ⅰ	7
昼休み	8
開会式及び表彰式	9
シンポジウム	9
懇親会	9
3月17日（日）	10
分科会Ⅱ	10
企画フォーラム①	11
ポスターセッション	12
理事会	12
分科会Ⅲ	12
企画フォーラム②	14
企画フォーラム③～⑦	15
発表者へのお願い	17
懇親会・昼食・宿泊	18
物販	20
アクセス	21
会場平面図	23
学内展示のご案内	24
エクスカーション・プログラム	25

開催挨拶

日本文化政策学会第 17 回年次研究大会 プログラム委員長
小林 真理

2024 年元旦に発災した能登半島地震に関連して、被災されたすべての皆様に対して心よりお見舞いを申し上げます。

自然災害の多い日本ですが、近年はその激甚化が顕著です。また世界的にも気候変動への対応が急務の課題として認識されています。これまでに人類が当然のこととして追求してきた価値の見直しが進んでいます。かつて西欧において文化の対概念は自然でした。西欧において文化とは、人の手が加えられていない自然を制御する、あるいは人の知恵や技術で乗り越えて築き上げたものを文化・文明といいました。文化・文明が自然の力で一瞬のうちに変化させられてしまうことを目の当たりにしてきました。いまや自然は人間の欲望のままに制御する、乗り越える対象ではありませんし、人間がただ恐れおののきひれ伏す対象でもありません。

文化・文明は、人々の紐帯を促してきました。固有の文化を築き上げ、アイデンティティを確認しながら民族や共同体を維持してきました。とはいえ、その文化もいまや分断や対立の源になっていることを私たちは等閑視することはできません。〇〇ファーストという政治的なスローガンで実現しようとする価値、ロシアによるウクライナ侵攻の理由、パレスチナとイスラエルの対立の原点、根源は広い意味での文化です。それは私たちが扱う文化とは違うのだということはいえないと思います。

かつて文化政策は、個々の民族の優越性やナショナリズムの勃興のときに盛んに議論されましたし、他者を排除する政策として実践もされました。しかしながら、21 世紀の私たちは、先祖返りをするのではなく、文化政策の思想・方法・実践を研究していくことが重要に思えます。望まれた方向に進行していつているわけではない様々な状況に対して、融通無碍な弾力性でバランスをとりながら持ちこたえる力が人間にも社会にも必要となってきたように思えます。とはいえ文化政策も社会が実現したい価値と無縁ではありません。そしてその価値の選択に誤りがあってほしくはないと思います。私は 1950 年に制定された文化財保護法の第一条の目的に掲げられた理念が素晴らしいと思っています。「この法律は、文化財を保存し、且つ、活用を図り、もつて国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献すること」を目的としています。いま、世界文化の進歩とは何なのかということ突きつけられている気がします。

今年度は、「多様性と共生社会—分断の時代の文化政策」という挑戦的なテーマを掲げました。研究に携わる者として、様々な研究課題に目を向けながら、刺激を受け、交流を深めながら、冷静に考察を深めていきたいと考えています。

会員の皆様とお会いできるのを楽しみにしています。

大会概要

日 時	2024 年 3 月 16 日（土）・17 日（日） ※18 日（月）エクスカーショ
会 場	青山学院大学青山キャンパス（東京都渋谷区渋谷 4-4-25）
参加費	会員（一般・学生ともに）1,000 円 非会員（一般・学生ともに）3,000 円 ※ 当日申込は各 1,000 円増 ※ シンポジウム、企画フォーラム、若手ポスターセッションは無料一般公開 ※ 介護・通訳等が必要な参加者 1 名（有料）につき、介護者・通訳等 2 名までの大会参加費無料（参加者ご自身の参加申込（有料）の際に、あわせてお申し込みください）
申込み	お申込みフォーム (https://jacpr2023.peatix.com)
主 催	日本文化政策学会
後 援	青山学院大学総合文化政策学部

◎参加申込／入会申込に関する問合せ先

日本文化政策学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-16-10-701

日本文化政策学会事務局（美学出版 内）

TEL：03-5937-5466 FAX：03-5937-5469

E-mail：jacpr_office@jacpr.jp / URL：http://www.jacpr.jp/

◎発表／プログラム等に関する問合せ先

日本文化政策学会第 17 回年次大会実行委員会事務局

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

青山学院大学 総合文化政策学部 中村美帆研究室

E-mail: jacpr2023aoyama@gmail.com

※e-mail でのお問い合わせにご協力をお願いいたします。

※事務局は非常勤につき、問い合わせの返信は数日お時間いただきますが、ご了承ください。

本研究大会における情報保障の考え方

情報アクセシビリティとは「年齢や障害の有無等に関係なく、誰でも必要とする情報に簡単にたどり着け、利用できること」をいいます¹。日本文化政策学会では、研究大会における障害者等への情報提供の方法（情報保障）についても、検討を重ねています。

本研究大会では現時点での参加者（発表者・聴講者／会員・非会員）への情報保障の選択肢として、UD トーク²による対応を想定しております。その他の情報保障についても、必要に応じて、学会の予算上可能な範囲で、対応できればと考えております。

準備のため、情報保障の申請〆切を、通常の参加申込〆切より早めに設定しております。また、予算等の都合上、全会場ではなく、参加者が希望された範囲での情報保障になることをご了承ください。

情報保障申請フォーム（2月18日締切） <https://forms.gle/RdikJ5n1kyZJmCFw7>

なお、情報保障のために取得した文字おこしテキスト等の情報については、2024年2月末現在、情報保障が必要な当事者への対応を除いた使用予定はございません。もし、今後大会記録の作成や公開等を検討する場合は、改めて関係者の皆様に許諾のご連絡を差し上げます。公開等を行わない場合は、情報保障のために収集されたデータは大会終了後に破棄いたします。

◎情報保障に関する問合せ先

日本文化政策学会第17回年次大会実行委員会事務局

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

青山学院大学 総合文化政策学部 中村美帆研究室

E-mail: jacpr2023aoyama@gmail.com

¹ 東京都福祉局「障害者への情報提供の方法（情報保障）」

<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/tokyoheart/jouhou/index.html> （2024年2月閲覧）

² UD トーク：音声認識と自動翻訳を活用した生活やビジネスの様々なシーンで活用できるアプリ。聴覚障害者への文字情報提供にも使われる。<https://udtalk.jp/about/> （2024年2月閲覧）

プログラム・スケジュール

<全体日程>

日時		内容	場所
3/16（土）	10:30～	受付開始	17号館5階
	11:00～13:00	分科会Ⅰ	17号館5階 (17501, 17502, 17503, 17507, 17508 教室)
	14:45～15:30	開会式及び表彰式	17510教室
	15:45～18:00	シンポジウム「多様性と共生社会—分断の時代の文化政策—」	17510教室
	18:20～20:20	懇親会	アイビーホール青学会館
3/17（日）	9:00～	受付開始	17号館5階
	9:30～11:30	分科会Ⅱ	17号館5階 (17502, 17503, 17507, 17508教室)
		企画フォーラム①	17501教室
	11:30～12:30	ポスターセッション コアタイム	17号館5階ラウンジ2ほか
		理事会	17504教室（予定）
	12:35～13:35	総会	17511教室
	13:45～15:45	分科会Ⅲ	17号館5階 (17502, 17503, 17507, 17508教室)
		企画フォーラム②	17501教室
	16:00～18:00	企画フォーラム③～⑦	17号館5階 (17501, 17502, 17503, 17507, 17508 教室)

3月16日（土）

分科会 I

時 間：11:00～13:00（①11:00～11:40 ②11:40～12:20 ③ 12:20～13:00）

※ I-A 及び B は 11:40 開始

会 場：17 号館 5 階 17501, 17502, 17503, 17507, 17508 教室

分科会 I-A 評価と文化政策（会場：17507 教室）

座 長：友岡邦之（高崎経済大学）

副座長：朝倉由希（公立小松大学）

発表者：

1. 立石訓人（東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻文化経営学専門分野修士課程 2 年）
「公立劇場・音楽堂の経営への事業評価の作用に関する研究」
2. 中村美亜（九州大学大学院芸術工学研究院教授）
「評価学から見た文化事業の評価における誤解と文化独自の課題」

分科会 I-B 障害と文化政策（会場：17503 教室）

座 長：川村陶子（成蹊大学）

副座長：大塚千枝（アーツカウンシル東京）

発表者：

1. 小野田由実子（法政大学現代福祉学部助教）
「障害のある人の表現活動に関する全国質問紙調査の分析—生活介護事業所をフィールドに—」
2. 萩原昌子（九州大学大学院芸術工学府芸術工学専攻博士後期課程）
「ろう者・聴覚障害者にとって「音楽」とはなにか～当事者へのアンケート結果から～」

分科会 I-C ライフステージと文化政策（会場：17508 教室）

座 長：菅野幸子（AIR Lab）

副座長：坪井ひろ子

（EU/UNESCO 文化的表現の多様性の保護及び促進に関する条約エキスパートファシリ
ティー・メンバー/コンサルタント）・大野はな恵（津田塾大学非常勤講師）

発表者：

1. Xichen Xu (Ph.D. Candidate, Graduate School of Global Arts, Tokyo University of the Arts)
“Evaluation of the impact of online music engagement program on aged people
in China from the pandemic period into a post-pandemic era”
※本発表およびその後の質疑応答等は英語で行われます。
2. 井口英夫（青山学院大学経営学研究科博士後期課程 1 年）
須原誠（青山学院大学経営学研究科博士後期課程 3 年）

「地域包括ケア政策を支える循環型ヘルスケア産業のクラスター・ビジネスモデルの開発」

3. 酒井雅代（東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科博士後期課程 1 年）

「子どもの貧困とアートプログラムのアクションリサーチ
ーアートプログラムを介した子どもの地域交流の可能性」

分科会 I-D 文化施設（会場：17502 教室）

座 長：松本茂章（文化と地域デザイン研究所代表／法政大学特任研究員・講師）

副座長：宮崎刀史紀（公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団）

発表者：

1. 柴田英杞（赤尾栄子）（東京経済大学大学院コミュニケーション学研究科コミュニケーション学専攻博士後期課程 1 年／公益社団法人全国公立文化施設協会アドバイザー）
「劇場・音楽堂における指定管理者選定にかかる考察 2023」
2. 玄田悠大（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻都市デザイン研究室・博士後期課程 3 年／国際交流基金映像事業部ネットワーク推進チーム兼コンテンツ事業開発チーム・チーム長代理）
「ミニシアターの地域性と多様性ー「JFF+ INDEPENDENT CINEMA2023」紹介館の分析を通じてー」
3. 天内大樹（青山学院大学総合文化政策学部准教授）
「復興記念館の設置目的と展示ー東京・仙台・浜松の比較ー」

分科会 I-E 市民参加・ボランティア（会場：17501 教室）

座 長：小林真理（東京大学）

副座長：戸ノ下達也（洋楽文化史研究会）

発表者：

1. 梶原千恵（九州大学大学院芸術工学府博士後期課程 4 年）
「災害後の芸術文化活動と市民参加」
2. 藤枝怜（東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科博士後期課程 4 年）
「コロナ禍の市民参加型アートプロジェクトにおける市民ボランティアの活動の変容について」
3. 藤原旅人（九州大学大学院工学研究院附属アジア防災センター特任助教）
「共創社会を導くボランティア／サポーターの意義」

昼休み

※関連企画「学会ビギナーズ・ランチ会」

時 間：13:15～14:30

会 場：ロータスガーデン 表参道（要事前申込・定員 30 名）

開会式及び表彰式

開 場：14:30
時 間：14:45～15:30
会 場：17510 教室

開会式

開会挨拶：藤野一夫（日本文化政策学会会長／芸術文化観光専門職大学）
開催校挨拶：竹内孝宏（青山学院大学総合文化政策学部長）

学会賞表彰式

審査員コメント：友岡邦之（第2回学会奨励賞審査委員長／日本文化政策学会副会長／高崎経済大学）
賞状授与：藤野一夫（日本文化政策学会会長／芸術文化観光専門職大学）
受賞者スピーチ：高久彩（九州大学）

シンポジウム

開 場：15:40（一般公開）
時 間：15:45～18:00
会 場：17510 教室

「多様性と共生社会—分断の時代の文化政策—」

登壇者：

川村陶子（成蹊大学文学部国際文化学科教授）
片山泰輔（静岡文化芸術大学文化政策学部教授）
團紀彦（青山学院大学総合文化政策学部教授）

モデレーター：

小林真理（東京大学大学院人文社会系研究科教授／本研究大会プログラム委員長）

懇親会

時 間：18:20～20:20
会 場：アイビーホール青学会館

3月17日（日）

分科会Ⅱ

時 間：9:30～11:30（①9:30～10:10 ②10:10～10:50 ③10:50～11:30）

会 場：17 号館 5 階 17502, 17503, 17507, 17508 教室

分科会Ⅱ-F 文化産業（会場：17507 教室）

座 長：高島知佐子（静岡文化芸術大学）

副座長：阪本崇（京都橘大学）

発表者：

1. 宮本督（東京大学大学院文化資源学研究専攻修士課程 1 年／弁護士）
「コンサートチケットの法律・経済・文化」
2. 角田陽一郎（東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻博士課程 2 年）
「メディアプロデュースの構造とエンターテインメントビジネスの変化
—番組『知のライブラリー』の事例から—」
3. 加藤賢（大阪大学音楽学研究室博士後期課程 3 年）
「コロナ禍におけるポピュラー音楽への文化芸術支援：日本およびイギリスの事例から」

分科会Ⅱ-G アートプロジェクト（会場：17503 教室）

座 長：若林朋子（プロジェクト・コーディネーター／プランナー／立教大学）

副座長：佐藤李青（アーツカウンシル東京）

発表者：

1. 松山雄大（上智大学大学院総合人間科学研究科社会学専攻博士後期課程 1 年）
「アートプロジェクトにおける業界形成—フィールドアプローチによる分析—」
2. 森下響（東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科熊倉純子研究室修士 3 年）
「ドヤ街でのアートプロジェクトに渗む「路上性」をめぐる考察
—〈バラエティロード SANYA〉を事例に—」
3. 槇原彩（成蹊大学客員講師）
「地域精神医療における共創的芸術実践の共事者性に関する研究—《「この病気にならないと理解できないと思います。どうせ、他人事でございましょう」展》における来場者アンケートの分析を中心に—」

分科会Ⅱ-H 地域文化（会場：17508 教室）

座 長：吉本光宏（合同会社文化コモンズ研究所）

副座長：吉田隆之（大阪公立大学）

発表者：

1. 岩井千華（美唄市教育委員会生涯学習課）
「ふるさと学への一考察」
2. 水野璃名人（同志社大学大学院総合政策科学研究科博士後期課程 3 年）
「地域文化を活かした地域教育の意義―宮崎県椎葉村における「椎葉学」の取り組み―」
3. 藤原恵洋（九州大学名誉教授／公益財団法人竹田市文化振興財団理事長／竹田総合学院(TSG)クリエイター）
「竹田市民公開講座アルティザン・トーク～もの・こと・ひとづくりデザインの文脈・矜持・未来～
縮小化都市におけるアルティザン市民の存在意義と展望」

分科会Ⅱ-I 文化財・文化遺産（会場：17502 教室）

座 長：井上敏（桃山学院大学）

副座長：武田康孝（国際交流基金）

発表者：

1. 鈴木健吾（東京大学総合文化研究科地域文化研究専攻博士課程 4 年）
「埋蔵文化財と都市政策―都市計画家・西山卯三の資料よりみる」
2. 新地真之（早稲田大学比較法研究所招聘研究員）
「インドネシアにおける無形文化遺産保護の現状と課題
～中部ジャワにおけるバティック保護の態様に鑑みて～」
3. 岡本彩（東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻文化経営学専門分野修士課程 2 年）
「文化と自然を扱うユネスコプログラムの重複登録に関する研究
―日本におけるユネスコ世界ジオパーク、ユネスコエコパーク、世界遺産に着目して―」

企画フォーラム①

時 間：9:30～11:30

会 場：17501 教室

「文化政策のこれからを考える―日・英・米・仏・独・韓の文化政策の国際比較から―」

企画代表者：

朝倉由希（公立小松大学准教授）

共同企画者：

菅野幸子（AIR Lab アーツ・プランナー、リサーチャー）

作田知樹（Arts and Law ファウンダー）

秋野有紀（早稲田大学教授）

長嶋由紀子（東京大学大学院人文社会系研究科研究員）

関 鎮京（北海道教育大学准教授）

ポスターセッション

時 間：11:30～12:30 コアタイム
会 場：17 号館 5 階ラウンジ 2 ほか

理事会

時 間：11:30～12:30
会 場：17504 教室

総会

時 間：12:35～13:35
会 場：17511 教室

分科会Ⅲ

時 間：13:45～15:45 (①13:45～14:25 ②14:25～15:05 ③15:05～15:45)
会 場：17 号館 5 階 17502, 17503, 17507, 17508 教室

分科会Ⅲ-J 地域における文化多様性 (会場：17507 教室)

座 長：大澤寅雄 (合同会社文化コモンズ研究所)

副座長：岡本真佐子 (青山学院大学)・作田知樹 (Arts and Law ファウンダー／理事)

発表者：

- 堀内まゆみ (北海道大学教育学院博士後期課程 3 年)
「イギリスのコミュニティダンスにおける「文化的多様性」概念の推移について
—コミュニティダンス雑誌『*Animated*』(2001～2023 年)の分析を手がかりに」
- 鈴木恵梨香 (公益財団法人浜松国際交流協会事業コーディネーター)
南田明美 (静岡文化芸術大学講師)
「外国人集住都市・浜松における「アート×多文化共生」の試み
—公立文化施設と国際交流協会との「協働」を AOP から分析する—」
- Chloe Pare-Anastasiadou (Visual artist and Ph.D. Candidate, Graduate School of Global Arts, Tokyo University of the Arts)
“Youth Futurisms Through Paperscapes in the *Fantastic Fields* Art Workshop”

※本発表およびその後の質疑応答等は英語で行われます。

分科会Ⅲ-K 地方自治体の関与（会場：17503 教室）

座 長：鬼木和浩（横浜市役所）

副座長：長津結一郎（九州大学）

発表者：

1. 蒔野真彩（東京大学大学院総合文化研究科多文化共生・統合人間学プログラム 博士後期課程／一般財団法人 JR 東日本文化創造財団）
「欧州文化首都 Linz09 における「文化」の再構築」
2. 山本宗由（長久手市くらし文化部生涯学習課）
生田創（長久手市くらし文化部生涯学習課）
「公立文化施設による舞台芸術制作と生涯学習支援の性質の違い
—長久手市の組織再編を事例とした検討—」
3. 松本隼樹（東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻修士課程）
「自治体文化行政における職員の専門性に関する研究」

分科会Ⅲ-L コレクションと展示（会場：17508 教室）

座 長：土屋正臣（城西大学）

副座長：野呂田純一（公益財団法人かながわ国際交流財団）

発表者：

1. 高久彩（九州大学大学院比較社会文化研究院特別研究者）
「19 世紀の軍事遠征による戦利品とミュージアムの倫理
—1874 年の台湾出兵と諸外国の事例を比較して—」
2. 谷口彩（SAI Co-Cre Labo 共創型プロジェクトマネージャー）
「キュレーションの方法論の変容に関する研究 —文化政策及び施策からの一考察—」

分科会Ⅲ-M 「芸術」の再考（会場：17502 教室）

座 長：小島立（九州大学）

副座長：片山泰輔（静岡文化芸術大学）

発表者：

1. 大野はな恵（津田塾大学非常勤講師）
「オペラ劇場による教育事業とそのジレンマ —英国ロイヤル・オペラハウスの事例から—」
2. 横堀応彦（跡見学園女子大学マネジメント学部専任講師）
「ドイツ語圏スイスの劇場環境—チューリヒ市立劇場の事例から—」
3. 篠原美奈（東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科博士後期課程 1 年）
「クラシック音楽家による共同開発的なパフォーマンス制作の実践研究
—音楽家を中心としたコレクティブ〈あちらこちら〉を事例に—」

企画フォーラム②

時 間：13:45～15:45

会 場：17501 教室

企画フォーラム②

「大学と施設等が連携した専門人材育成の展望」

企画代表者：

近藤のぞみ（芸術文化観光専門職大学講師）

共同企画者：

藤野一夫（芸術文化観光専門職大学）

高橋加織（芸術文化観光専門職大学）

佐藤良子（静岡文化芸術大学文化政策学部）

登壇者：

藤野一夫（芸術文化観光専門職大学）

近藤のぞみ（芸術文化観光専門職大学）

李知映（芸術文化観光専門職大学）

高橋加織（芸術文化観光専門職大学）

企画フォーラム③～⑦

時 間：16:00～18:00

会 場：17 号館 5 階 17501, 17502, 17503, 17507, 17508 教室

企画フォーラム③（会場：17503 教室）

「市民参加型の祭りによる地域振興の可能性—阿波踊りの担い手に見られる社会的価値を事例として—」

企画代表者：

中村まい（お茶の水女子大学大学院博士後期課程 3 年）

共同企画者：

越後巧（藤棚連連長）

登壇者：

中村まい（お茶の水女子大学博士後期課程 3 年）

佐野秀史（全日本空輸株式会社 ANA 連連長）

伊藤弘美（湘南なぎさ連連長）

越後巧（藤棚連連長）

企画フォーラム④（会場：17507 教室）

「アート・コミュニケータ（AC）の存在意義を考える

—東京都美術館と札幌市 SCARTS の事例に着目して—」

共同企画代表者：

吉水 由美子（アート・コミュニケータ東京）

三宅美緒（北海道大学大学院博士課程）

コメンテーター：

佐々木秀彦（アーツカウンシル東京 企画部企画課長）

藤原旅人（九州大学大学院工学研究院附属アジア防災研究センター特任助教）

企画フォーラム⑤（会場：17502 教室）

「政策評価のあり方と評価指標の活用方法の可能性

—静岡市「フェスティバル・シティ静岡」政策の事例から考える—」

企画代表者：

石川緋名子（一般社団法人文化政策経営人材研究所代表理事／愛知大学非常勤講師）

共同企画者：

大野はな恵（一般社団法人文化政策経営人材研究所研究員／津田塾大学等非常勤講師）

片山泰輔（一般社団法人文化政策経営人材研究所統括アドバイザー／静岡文化芸術大学文化政策学部教授）

熊田知晃（一般社団法人文化政策経営人材研究所研究員／明治大学政治経済学部兼任講師）

パネリスト：

野田邦弘（横浜市立大学大学院都市社会文化研究科客員教授）
藤野一夫（芸術文化観光専門職大学副学長／神戸大学名誉教授）

企画フォーラム⑥（会場：17508 教室）

「中間支援組織「地域アーツカウンシル」の現場が眼差す文化政策の未来」

企画代表者：

関鎮京（北海道教育大学岩見沢校芸術文化政策研究室）

共同企画者：

吉本光宏（合同会社文化コモンズ研究所）
小川智紀（認定 NPO 法人 ST スポット横浜）

登壇者（敬称略、五十音順）

上地里佳（沖縄アーツカウンシル）
大澤寅雄（合同会社文化コモンズ研究所）
小川智紀（認定 NPO 法人 ST スポット横浜）
杉崎栄介（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 アーツコミッション・ヨコハマ担当）
野村政之（信州アーツカウンシル）
橋本誠（一般社団法人ノマドプロダクション）
林立騎（那覇文化芸術劇場なはと）
関鎮京（北海道教育大学岩見沢校芸術文化政策研究室）
吉本光宏（合同会社文化コモンズ研究所）
若林朋子（立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科）

企画フォーラム⑦（会場：17501 教室）

「創造の場におけるジェンダーギャップ調査のマッピング
—だれもが活躍できるワークライフバランスの実現を目指して—」

企画代表者：

端野真佐子（NPO 法人子ども文化地域コーディネーター協会）

共同企画者：

西山葉子（フリーランス／舞台芸術制作者／文化政策研究者）
熊倉純子（東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科教授）

ゲストスピーカー：

植松侑子（特定非営利活動法人 Explat 理事長）
歌川達人（一般社団法人 Japanese Film Project 代表）

発表者へのお願い

1. 事前準備について

- (1) 大会参加費および会費を未納の場合は、発表資格が取り消されます。本年度及び過年度の年会費をまだ支払っていない方は、個別にご依頼した期日までに必ずお支払いいただけますようお願いいたします。年会費および学生会員に関わることは、学会 HP をご参照の上、学会事務局に直接お問い合わせください。
日本文化政策学会ホームページ：<http://www.jacpr.jp>
- (2) 分科会によっては、座長・副座長から予稿集に掲載のメールアドレスに事前連絡がありますのでご注意ください（すべての分科会で事前連絡があるとは限りません）。
- (3) 大会全体のプログラムに影響しますので、各プログラムの開始・終了におきましては、時間厳守での運営にご協力をお願いいたします。

2. 当日の機材・配付資料等について

2-1. 研究発表及び企画フォーラム

- (1) 会場でのコピーサービスには対応できません。資料配布を希望される方は、事前に 30 部以上のレジュメの準備をお願いいたします。
※ 各プログラムの参加者数について、実行委員会では把握しかねますので、ご了承ください。
- (2) 報告者は、プログラム開始 10 分前に会場にお集まりください。分科会では、座長・副座長・報告者による簡単な打ち合わせ等が行われる場合があります。
- (3) プロジェクターの使用を希望される方は特に次の点にご注意ください。
 - ① 各会場には、HDMI 接続が可能なノートパソコン・1 台（Windows10 ないし 11、USB Type-A）、HDMI ケーブル、備え付けプロジェクター、ワイヤレスマイクが用意されています。それ以外の機材を使用する場合は、各自でご用意ください。
※ パソコンについては、ワード、エクセル、パワーポイント等の基本ソフトについてはインストールされていますが、それ以外のソフトをご使用の場合は、ご自身でパソコンを持ち込んでください。
 - ② 機材を利用される報告者は、スライドのデータを USB に入れてご持参ください。プログラム開始 15 分前に会場にお集まりいただき、各自、会場設置のノートパソコンでスライドの操作確認をお願いします。
 - ③ ご自身のノートパソコン（Mac 等）をご使用になる場合も、プロジェクターへの接続が滞る場合がありますので、プログラム開始 15 分前にお集りいただき、操作確認をお願いします。HDMI 接続にコネクタ等が必要な場合は、必ずご自身で持参ください。接続状況によっては、会場設置のノートパソコン（Windows）をご使用いただく場合もございます点、ご了承ください。
 - ④ 開催校では機材の動作確認等含め、できるかぎり報告者への協力をいたしますが、機材操作等については報告される方の自己責任にてお願い致します。特に、コンピュータ関連の接続や、データ形式等にご注意ください。万が一、機材が作動しない場合に備えて、印字原稿やスライド印刷資料をご用意頂く等の方策を取っていただくことをお勧めします。
 - ⑤ 企画フォーラムで複数の PC 利用を希望される場合は、2 台目以上は企画者のほうでご準備をお願いいたします。
 - ⑥ 青山学院大学は eduroam JP に参加しております。eduroam アカウントをお持ちの方は、会場でキャンパス無線 LAN を利用できます。

2-2. ポスターセッション

- ① ポスターは各人が印刷の上、当日ご持参下さい。掲示場所は、実行委員会の指示に従ってください。1 m 離れても判読できる程度の文字の大きさにご注意ください。
- ② コアタイム（3 月 17 日（日）11:30～12:35）は、必ずご自身のポスターの前で発表して下さい。
- ③ 音の出る発表資料は不可となります。

懇親会・昼食・宿泊

(1) 懇親会は予約制となります。必ず事前申込みをお願いします。

- 懇親会会場 アイビーホール青学会館（青山学院校友会関係施設）
一旦大学正門を出て右折（赤矢印①）、敷地沿いに進んでさらに右折（赤矢印②）、直進して右手側になります。



- 参加費
一般（会員・非会員ともに）：6500 円
社会人学生（学業とは別にフルタイムの職業に就く者、会員・非会員ともに）：4500 円
その他学生（会員・非会員ともに）：3300 円
 - 申込み：大会参加申込みとあわせて peatix からお申し込みください。
 - 申込み締切：3 月 7 日（木）18:00（厳守）
- (2) 研究大会会場（青山キャンパス 17 号館 5 階）の各教室・ラウンジは飲食可能です。昼食は各自でご用意ください。大学周辺にはレストラン・カフェもございます。
なお、大会初日の 3 月 16 日（土）11:00-14:00 のみ、17 号館 1 階の学生食堂「イチナナ食堂」が春期休業中の縮小営業ですが、ご利用可能です。
<https://www.aogaku-kobaikai.com/service/cafeteria.html>

【参考】大学周辺のコンビニマップ



- (3) 3月16日(土)昼休みの時間帯に、関連企画「学会ビギナーズ・ランチ会」が開催されます。詳細は下記をご参照の上、主催者まで直接お問い合わせ・お申し込みください(大会事務局・peatixでの申込はできませんのでご注意ください)。
- ・ 日時：2024年3月16日(土)13時15分～14時30分
 - ・ 場所：ロータスガーデン 表参道(※青山学院大学正門から徒歩7～8分)
<https://tabelog.com/tokyo/A1306/A130602/13187346/>
 - ・ 参加費：1人1500円(昼食代、当日会場で現金にて徴収)
 - ・ 申込み：<https://forms.gle/MWc8dfgctGarB8Md6>
 - ・ 定員：30名
 - ・ 申込締切：2024年3月8日(金)
 - ・ 主催者より：お昼ご飯を食べながら、交流を深めましょう！初めて学会に参加される方や若手研究者の方は、名刺ではなく、ハガキ大～A4サイズくらいの自己紹介のハンドアウトを持参されることを推奨いたしますが、必須ではありません。
 - ・ 主催：Early Career Club ニチニチ荘
 - ・ HP：<https://wakate.pacr-lab.net/bunkaseisakugakkai17/>
 - ・ 問い合わせ先：cp.oralhistory@gmail.com
 - ・ 本企画幹事メンバー：風間勇助(奈良県立大学)、中村まい(お茶の水女子大学)、長谷川仁美(Academy of Fine Arts Vienna / 琉球大学)、山崎康史(早稲田大学)、吉水由美子(アート・コミュニケータ東京)
- (4) 宿泊、列車・飛行機チケット等についての斡旋は行っておりません。お早めの予約をお願いいたします。

物販

- (1) 本大会では原則、書籍等の物販は取扱いいたしません。
- (2) 文化政策研究上、貴重な文献・資料であり、かつ書店やアマゾンなどの流通に乗らないものの場合に限り頒布していただけます。
- (3) 頒布に際しては、関係者ご自身が販売に関する実務を担当され、実行委員会は場所と机の提供のみ行います。会場への事前送付は受け付けられません。
- (4) チラシ類も実行委員会は場所と机の提供のみ行います。関係者ご自身が設置、撤去をお願いいたします。
- (5) 資料等の頒布、チラシ類の設置を希望される方は3月2日（土）までにメールで事務局に申請をお願いいたします。

アクセス

青山学院大学（青山キャンパス）
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

JR 山手線、JR 埼京線、東急線、京王井の頭線、東京メトロ副都心線 他「渋谷駅」より徒歩 10 分
東京メトロ（銀座線・千代田線・半蔵門線）「表参道駅」より徒歩 5 分
※車輦での来校はご遠慮ください。

青山学院大学 青山キャンパス アクセスマップ



青山キャンパス マップ



会場：17号館 5階
入口
正門から入り直進、
1号館横を通り過ぎて
左折し
中庭を横切ります

※東門・記念館門は、工事のため通行できませんのでご注意ください。

青山大学大学アクセス情報

青山学院大学 HP：



青山キャンパスアクセスマップ

https://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/access.html#anchor_01



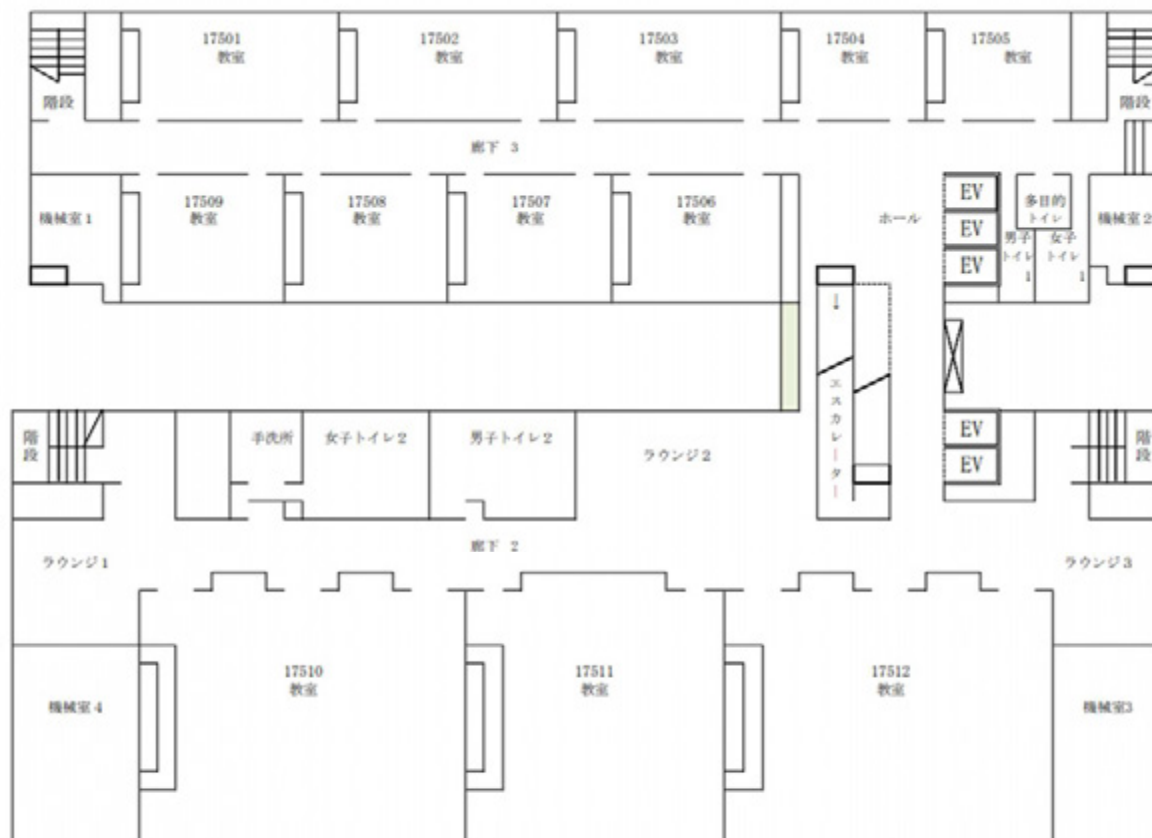
キャンパスマップ（青山）

<https://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/aoyama.html>

会場平面図

本研究大会の会場はすべて青山学院大学青山キャンパス 17 号館 5 階の教室になります。

大学17号館 5階



※ 青山学院大学は eduroam JP に参加しております。eduroam アカウントをお持ちの方は、会場でキャンパス無線 LAN を利用できます。

学内展示のご案内

青山学院資料センター展示ホール

2008 年に国の登録有形文化財（建造物）に登録された間島記念館の 2 階の展示スペースです。日本におけるキリスト教禁止政策の資料、信教の自由が認められた後に宣教師によって開設された青山学院の 3 つの源流となる学校の資料、関東大震災および戦時下の青山学院の資料などが展示されています。

料金：どなたでも無料でご見学いただけます。

展示ホール開館時間：

3 月 15 日（金）9：30～17：00（入館は 16：30 まで）

3 月 16 日（土）9：30～13：00（入館は 12：30 まで）

3 月 17 日（日）休館

3 月 18 日（月）9：30～17：00（入館は 16：30 まで）

参考 URL：<https://www.aoyamagakuin.jp/history/mcenter/guide>



エクスカッション・プログラム

青山サブカルチャー探訪

今回、実行委員をしてくださっている井口典夫先生は、生まれも育ちも青山で、高校生当時から約 50 年間、リーダーシップを発揮して街に文化的エッセンスを加えてこられました。最も目に留まることは、渋谷駅への岡本太郎の大壁画「明日の神話」の誘致ですし、青山通りの景観設計になります。また様々な文化人との交流を通じて、サブカルチャーの分野についても右に出る方はいらっしゃいません。文化を街に組み込むということをどのように行ってきたのか。街を巡りながらお話を伺います。

日 時：2024 年 3 月 18 日（月）13：00 集合

集合場所：青山学院大学正門の右手、総研ビル 1 階ロビー

小雨決行、雨天中止

予定ルート（井口先生記）：

青山通り景観整備事業 2.3km（企画設計・井口）の状況を説明しながら、旧こどもの城・国連大学（地元町会で招致活動を展開）→青山学院アスタジオ（旧・井口宅）への NHK スタジオ誘致 →★岡本太郎記念館（岡本敏子と一緒に住んだ日々）→三宅一生ほか著名デザイナー初出店店舗 →向田邦子ゆかりの神社 →表参道・名（迷）建築の競演・狂乱 →大山巖元帥邸と鹿鳴館時代 →キャットストリートと若者文化（キャットストリート・東急ハンズ・Q フロントビルの命名者・浜野安宏と共に過ごした 30 年）→セントラルアパートと糸井重里・浅井慎平 →團琢磨と原宿一帯 →（総理・岸田君と一緒に開成高校に通った）メトロ千代田線・明治神宮前駅にて解散

注意：★は時間の関係で回り切れないと思いますが、参考のため口頭でご紹介

所要時間：2 時間

参加定員：10 人

申込方法：井口先生あて直接メールしてください（定員に達した時点で締め切ります）

■■■■@■■■■